



はなもみじ

平成22年 屋代
6月24日 小学校
春秋ごじに句うなり

いよいよ水泳シーズン ~ 22日(火) 待望のプール開き! ~

【学校長の話】 プールを高学年の皆さんが一生懸命掃除をしてくれました。また、大内先生は、冬の間も、鳥などがプールを汚さないよう、管理をしてくださいました。そうした力があって、今日の日があることを忘れないようにしましょう。

水泳は、水の事故から自分を守る大切な学習です。私の通った小学校は、1年生のときにプールができました。5年間息つきがうまくできず、長く泳ぐことができなかったため、プールはあまり好きではありませんでした。6年生になり、友達からもいろいろと教えてもらって息つきができるようになると、プールがとても楽しくなりました。皆さんも、昨年より今年という目標をもって、水泳に取り組んでください。

毎年、プールの事故で亡くなる人のニュースが流れます。それは、プールの約束を守らなかったことに尽きます。水泳は、命を守る学習であると同時に、命にかかわる事故も起きることもあります。無事に水泳学習をして、夏の終わるころには、今年はこんなことができるようになったと成果を確認できるようにしましょう。



プール開きを終え、まず1年生が初泳ぎを楽しみました。体育館の耐震補強が始まり、2学期始業式まで使えません。プールを使って、体力作りをしましょう。

ルールを守り、けがのないようにし、上達するようがんばりましょう。(体育委員長)



【水着の洗濯は1年生から自分で】

たらいに水を入れて、すすぎ洗いをする、洗濯機を使って脱水をする等、洗濯の仕方を教えてあげてください。

決められた場所に干し、乾いたことを確認して、自分で畳み、水泳バッグに入れるようにしましょう。

まずは一緒に、だんだんと自分で。

自分のことは自分でする習慣を付けるよい機会としてください。

23日(水) 5年生が田植え



雨の中、力を合わせて田植えを行いました。これからも、多くの方々のお力をお借りしながら、米作りの大変さや喜びを体験していきます。

学校にはルール(きまり)があります。家庭にもルール(約束)があることでしょう。子どもは、ルールを守ったり破ったりしながら、人との関係のあり方や社会のルールの大切さを学んでいきます。

特に、発達障害のある子どもは、最初に間違った学習をしてしまうと、それを直すことはなかなか難しいものとなりがちです。



ルールを守ることは自分を守ること

ルールを守ることは、集団生活を送るにあたって、必要なことです。

【家庭の中でのルールのいろいろ】

- 生活上のルール ... あいさつ、帰宅時間、寝る時間、食事のマナー等
- 役割分担のルール ... 掃除や食事の準備・後片づけ、動植物の世話等
- 道徳上のルール ... 他人に迷惑をかけない、うそをつかない等

しつけに一貫性をもたせ、しっかりと身につけさせるためにも、親をはじめ家族でよく相談して、はっきりしたルールをつくり、子どもとともに親もそれを守るようにします。学級や家庭では、葛藤や摩擦の中で作り上げられていく独自のルールもあります。一方的にならず、子どもの意見も聞いて一緒にルールをつくるようにすれば、守りやすくなります。

学校や社会では、ルールを守る人は、信頼されます。信頼は自信となり、さらに自分勝手にせず、相手のことを考えながら、よりよく生活しようと考えようようになります。また、ルールが自分を守っていてくれることにも気づくことでしょう。

「テレビやゲーム」「携帯電話やパソコン」についてのルールも大切になります。大人の私たちも勉強が必要です。

【情報モラルとして学んでいく必要のある事項】

「携帯電話で楽しむのもほどほどに」「ワン切りに気をつけて」「肖像権に気をつけて」「ネットいじめは人権侵害」「ネットで悪口が罪になる」「ワンクリック不当請求に気をつけて」「ネット上のあぶない出会い」「チェーンメールはカット」「無料ダウンロードは慎重に」「コンピュータウイルスに注意」「個人情報公開しない」等々たくさん...

これからの時代、子どもの学ぶべき事柄は、増える一方です。現代社会の中で生きていくことは、子どもにとっても大変なことなのです。

